

カンボジアの内戦が終結して 20 年余り。恐怖政治によって崩壊した教育と仏教は、復興の道を歩み始めています。しかし、カンボジアの教育は今なお、近隣国家に比べて遅れているといわれています。「【業界体験】社会人限定！仏教国カンボジア 教育の未来を考える 6 日間」では、カンボジアの教育について深く知ってもらうため、教育×仏教の観点から、【カンボジアの教育の全貌】について学びます。

「【業界体験】社会人限定！仏教国カンボジア 教育の未来を考える 6 日間」をもっと詳しく見ていきましょう！



田舎の村の子どもたちの授業の様子

今回ご一緒する手束さんってどんな方？



カンボジア宗教省 仏教研究所のアドバイザー
手束 耕治 (てづか こうじ)先生

出身：徳島県

学歴：駒澤大学大学院で仏教学専攻

現在：カンボジア宗教省 仏教研究所のアドバイザー

今回の活動でご一緒する手束耕治先生が海外支援に興味を持ち始めたのは、大学院を修了した後のこと。当時、曹洞宗ボランティア会(現・シャンティ国際ボランティア会)の一員として、タイのカンボジア難民キャンプを訪れ、その際に笑顔を失った子どもたちに出会った。「子供が笑わない国に未来は無い」と感じたのが海外支援に興味を持ったきっかけとなりました。特に、人々の生きる支えであった仏教復興に関して、専門的に活動をするようになりました。それだけではなく、人々に夢と希望を届けようと図書館活動も行い、カンボジア国内に広める活動を積極的に行なってきました。



仏教に対して、お話をいただく姿。

そして、昨年度の 2016 年には、宗教と教育、文化の復興を牽引してきた功績を称えられ、公益財団法人社会貢献支援財団「社会貢献の功績 日本財団賞」と日本国外務省「外務大臣賞」を受賞しました。



授賞式の様子です

現在は、カンボジア宗教省 仏教研究所のアドバイザーを務め、仏教復興に注力しています。



仏教研究所に勤める手束さん

スタディツアーでできること！

手束さんが2日目～4日目までプログラムに同行！

施設と一緒に訪問してくれるのはもちろんのこと、お食事と一緒に取る機会多数あり！カンボジアの教育・仏教に長年関わってきた手束さんから、直接ご案内を受けられる特別なプログラムです。



お食事も一緒にいただきます

お寺での一泊体験とは？

お寺での一泊体験と聞くと、「仏教徒」でもない自分でも大丈夫かな？と不安に思われる方も多いのでは？
しかし、心配をすることはありません。宿泊施設の一例を覗いてみましょう！

実際に宿泊する場所はこのようなお寺です。お寺の中に僧房(お寺の中にある僧の起居する建物)があり、こちらに一泊します。(※実際に宿泊する場所とは異なる場合がございますが、基本的な内容は下記となります。)



僧房の外観

お部屋の室内の写真。女性は数名で1部屋をお借りして宿泊します。

(男性の場合は、大広間に宿泊となる場合がございます)

夜は騒ぐことは禁じられているので、静かに過ごすようにしましょう。



お部屋の写真



お手洗い・シャワー室

カンボジアには、日本ようなバスルームはありません。更に、今回宿泊をするお寺は、トイレとシャワーが一緒になっているユニットの仕組みになっています。(カンボジアの家庭はこのような仕組みであることがほとんどです。) 宿泊場所に寄って異なりますが、シャワーの用意がないところもございます。また、熱い蛇口からは、熱いお湯は出ません。シャワーがない場合は、桶に水を汲んでいただき、ご利用いただけます。

＼過去参加者の声／

想像していたよりも、宿泊場所は、綺麗でした。今回は、1泊だったため、お風呂は使用しませんでした。(次の日のホテルで利用しました。)シャワーが使えない場合もあることを想定し、水のいないシャンプーや汗拭きシートなどを持っていくといいでしょう。なお、洗顔や歯磨きは、問題なく出来ました。僧侶と同じ生活体験が出来るとは、実に貴重な機会でした。

★朝食体験

宿泊所で1泊をした朝は、僧侶の修行体験！

朝食作りのお手伝いをしたり、お寺のお掃除をしたり。托鉢を終えた後は、僧侶たちは続々とお寺に戻ってきます。ドンチーは一足先にお寺に戻り、朝食準備を行います。朝食は、なんとビュッフェスタイルです。



このようにお皿を僧侶に見せ、食べたいものを選んで食べる形式となります。朝食の一例はこちらです！



朝食をとりながら、僧侶やドンチーさんとの交流も楽しみましょう。

(注)「ドンチー」とは、剃髪して白い衣を纏い八戒・十戒を保持する女性修行者のこと。

スタディツアーでできること！

お寺で宿泊体験はなかなか出来ないことなので、貴重な体験。ただ宿泊するだけでなく、僧侶の生活体験が出来る点がポイント！国民の9割以上が仏教を信仰するカンボジアで、仏教を信仰する僧侶の考え方をすることは、カンボジア教育を知るために非常に重要なことです。

【12月29日（金）出発】

【業界体験】 社会人限定！ 仏教国カンボジア 教育の未来を考える6日間



宗教省の手束さんが皆様をカンボジアにお連れいたします。

「カンボジアに行ってみたい！」

「途上国の教育について知りたい！」

2回目のカンボジアでも楽しめる年末特別なスタディツアー。

今年の年越しは「カンボジアの教育について」について考えてみてはいかがでしょうか？

⇒http://www.pitt.jp/tour/detail.php?tour_code=STP-26